

第6回大田区文化芸術推進協議会 議事要旨

1 開会

日時 令和7年10月28日(火)9時30分から11時30分まで

場所 大田区役所2階 201会議室

委員出欠

出席(1)委員 10 名

(2)事務局 文化芸術推進課4名

欠席 委員2名

2 次期大田区文化振興プランの素案について

(1)目次について

異論なし

(2)発言内容について

該当 ページ	該当箇所	発言内容	発言者
5～ 22	全体	第1章から第3章までの内容を見ると、「福祉」の要素が感じにくい。	H 委員
		全体を通して、この計画が対象とする「大田区民」が描かれていない印象を受ける。どういう人を「大田区民」と考えているのか。港区では区民を定義しており、区内で活動する区外の人も区民としている。大田区内で「暮らし、働き、学ぶ人」が今回の計画の対象ではないか。 区民が文化とどう関わっているか。区民は主役である。区民にとって文化芸術はアイデンティティの源であり、自己表現の場でもある。10 ページの第2章「多種多様な文化資源と文化施設」でこの要素を入れられるといい。	副会長
		文化芸術は常に動いており、日々新しくなっている。	E 委員
9	特色ある地域性	「異なるバックグラウンドを持つ区民が共生しています。」とあるが、「共生」という言葉を「ともに暮らしている」「ともに生きている」とした方がいいので	D 委員

		はないか。	
10	多種多様な文化資源と文化施設	副会長が言うように、区内で活動する人も計画の対象となるのではないかと。9ページもしくは10ページにその旨を明記するといいい。 大田区に住民登録がない人も大田区を盛り上げているのではないかと。	会長
11		地図のどこかに「大森貝塚」を入れてほしい。	F 委員
11～14		文化施設について、区立施設だけでなく民間施設も含めていいのでは。	
12		区民ホール・アプリコの紹介文の中に「音響や照明設備が優れている」という文言を追加してほしい。	L 委員
17	区の文化芸術活動の現状と課題	「2 文化芸術の鑑賞実態」のなかで、「何等かの理由」「学業等」との表記があるが、「何らかの」「学業など」といった表記の方がわかりやすいと思う。	D 委員
20	めざすまちの将来像	「異なるバックグラウンドを持つ人同士が出会い」とあるが、素案に記載のある事業の例示に外国の文化芸術に触れる事業が少ないと感じる。	H 委員
21	計画の施策体系	「8年後のまちの将来像として掲げる」について、具体的に8年後である「令和15(2033)年」を明記した方がいいのではないかと。	K 委員
24・29・34・37	施策1～4	施策ごとに「めざす姿」が書いてあるが、別のページでまとめて記載してもいいと思う。 「めざす姿」は将来のことを言っているが、事業例は過去のものになっている印象を受ける。	F 委員
26	施策1●新たな取組例	「新たな取組例」について唐突感がある。なぜこの取り組みを推進していくのか、背景が示されるとわかりやすい。	C 委員
		「新たな取組例」に出てくる「文化センターを拠点とした文化芸術活動」の定義があいまいに感じる。表現を工夫した方がいい。	副会長
29	施策2	施策2のめざす姿「文化資源を通じて地域に魅力を感じ、この地に住むことに誇りをもっています」とあるが、「この地に住む」ではなく、「活動する」など住むだけではない表現に書き換えるといいのではないかと。	D 委員

31	施策2コラム	コラム1について、一般論ではなく大田区らしさを出した方がいい。学芸員になりたい人への紹介にならないように工夫が必要。	
		施策2のどの事業を補完しようとしているのかわかりにくい。コラムがある意味を定義するといい。内容についても、記念館には学芸員が●人いて、日々どのようなことをしているかわかると大田区らしさが出る。また、レプリカ展示について、どういう意図でこのような展示をしているのか意図を書くと大田区のやり方が出て、読み手に伝わりやすい。	C 委員
32	施策2-2	事業例の中に、御会式やお祭りなどの行事をぶら下げてもいいのではないかな。	I 委員
35	施策3●新たな取組例	「新たな取組例」の【つなぐ人材の育成】について読んでいくと、「人材の育成」と「相談業務」が整理できていないように感じる。「相談業務」を充実させるために「人材の育成」が必要ということではないかな。	副会長
36	施策3-2	文化芸術の担い手(企画・運営できる人)たちのマッチングアプリがあるといい。	D 委員
		事業をやりたいときに、どこにアクセスしたらいいかわからない。わかりやすくなるといい。	E 委員 L 委員 I 委員
		埋もれている文化資源を発掘するには、各地域にコーディネーターが必要。区内にはまだ知られていない文化資源がある。	H 委員
		区民目線で事業の発信をしてほしい。	E 委員
		情報発信への課題は、36 ページで記載している事業例の書き方を工夫することで、地域とのつながりをさらに深めていけるのではないかな。	K 委員
	新たな取組例 コラム全般	26 ページに施策1の「新たな取組例」として2点記載があるが、なぜこの取り組みを書いているのかわからない。現状の課題を書いてから書くといい。例えば「区内で文化芸術の担い手が減少している」といった一文があると、この取り組みの必要性が	会長

		読み手に伝わる。 C 委員や D 委員と同様、コラムは一般論ではなく大田区独自の切り口で書いてほしい。31 ページのコラムも唐突感があるので、なぜこの2つのコラムを用意したのか前振りも必要だと思う。 35 ページに施策3の「新たな取組例」【つなぐ人材の育成】の記載があるが、「アートマネジメント研修」に限定しなくてもいいのではないかな。 収集した情報を編集して提供するのがコーディネートする人の役割。プロだけでなく地域でアマチュア活動をしている人も含めて情報がわかるといい。 他自治体では、区民や市民が学芸員から講座を受けて市民学芸員となり、講演会などのやり方を学んだうえで、区民や市民に還元している例がある。「つなぐ人材」について、もう少し丁寧な説明が必要だと思う。	
37	施策4	施策4「各分野で複雑化する社会課題の解決に向けて」とあるが、文化芸術を活用して解決することまでは難しいのではないかな。「各分野で複雑化する社会課題に新しいアプローチや視点を提供すべく」といった表現の方がいいのではないかなと思う。	C 委員
41・42	推進体制	「文化権」は初出か。初出であれば、何を指すか定義(説明)するといい。 区と協会の位置づけを明確にした方がいい。区民の役割があると義務に感じる。区民や芸術家は役割というよりも一緒にやっていく感じがあるといい。区と協会は役割でいいと思うが、区民は「区民のかかわり方」「区民への期待」がいいのでは。 区と協会のかかわりがわかりにくい。協会は「区が出資して創設された」と記載した方がいいのではないかな。	
		区民・団体・協会のかかわりがわかりにくい。	D 委員
41		推進体制はとても大事。区だからできることをきちんと書いた方がいい。区民や団体がやりたいこ	F 委員

		とがあったときに、どこにアクセスしたらいいのかわからない。わかりやすくまとまっているといい。文化芸術の企画や運営は専門性が必要だから、知識がある人がコーディネートする必要がある。区民には「こども」も含まれる。	
		区民の役割がしっくりこない。区民は主役と書いてあるのに何か役割を担わないといけないのか。	L 委員
		「文化権」が 41 ページで初出ということに違和感がある。20 ページの「めざすまちの将来像」で文化権を明記してはどうか。 区民の役割について、まったく役割がないというものの問題だから、きちんと書くことは重要だ。「区民の役割」ではなく「区民のかかわり」がふさわしいと思う。文化芸術をやる義務はないが、文化芸術を創造し享受する権利はある。区民は大きな役割を果たしうる大事な存在だと伝えることが大切だ。	副会長
		区はどこまでやるのか。推進体制の図を書いてみてはどうか。 推進体制の中で、区民を最初に記載することで、見え方が変わる。 42 ページで区と協会の役割を明確にできないか。区ではできないが、外郭団体であればできることもある。	会長
41・43	推進体制 進行管理	推進体制と計画が対象とする区民の範囲は、区別して考えた方がいい。 PDCA サイクルも大田区バージョンにした方がいい。	
43	進行管理	現行プランと違って評価を前面に出さないのであれば、毎年度振り返り検証(事業参加者へのアンケートや参加型評価)を行っていくことを書いた方がいい。参加型評価がどのような評価方法かわかるように解説した方がいい。	C 委員
		協議会や連絡会を毎年度開催し、次年度以降に改善していく「Action」(改善)が大切である。	H 委員

		PDCA サイクルの図がすっきりしていてわかりやすい。	I 委員
		PDCA サイクルの「PLAN」について、初年度は区の計画の策定となるが、次年度以降はそれぞれの事業が位置づけられる。中間見直しで区民アンケートを実施して計画を改定するかもしれない。この流れを図でわかるように示すといい。毎年度やることと中間見直しでやることをビジュアルでしっかりと書くといい。令和 11 年度の区民アンケートがとても重要なことなので、もう少し強調してもいいのではないか。	副会長

3 その他

事務局から計画の本編をもとに概要版(日本語・英語)も作成する旨、報告。

4 事務局からの事務連絡

- (1)パブリックコメントは、本協議会で使用した素案を用い、本議事要旨も同時に区 HP で公開する。本協議会で議論された上記内容については、パブリックコメントで集まったご意見とともに次回協議会で改めて集約する。
- (2)パブリックコメント及び区民説明会の実施について
- (3)次回の開催日時について